



2026 ISAS in KIT
International Symposium on Applied Science

February 5-7, 2026, Kitami, Hokkaido, Japan



**International Symposium
on Applied Science
(ISAS 2026 in KIT)**

**台湾・輔仁大学との交流会 x 国際シンポジウム
in 北見工業大学**

2026年 2月5日～2月7日

コーディネーター

北見工業大学：邱 泰瑛 准教授

輔仁大学：蔡 宗佑 教授

【緒言】

本学は2018年7月より、バイオ食品コースの教員を中心として輔仁大学との交流を開始した。同年12月には、輔仁大学の一行が北見工業大学を訪問し、表敬訪問および学術発表会を実施した。翌2019年8月にも、輔仁大学において学術交流や意見交換を継続して行った。その後、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中断を余儀なくされたが、制限の解除に伴い対面での交流を再開し、2023年7月には本学の一行（小西教授、新井教授、陽川准教授、邱准教授、蔭西博士、渡辺さん、タンペイユーさん）が輔仁大学を訪問して学術交流を実施し、温かいもてなしを受けた。この訪問を契機として、同年12月に両大学間で学術交流協定を締結した。



2023年7月シンポジウム（ISAS 2018）の記念写真

両大学の交流は、輔仁大学食品科学系の蔡宗佑教授と本学バイオ食品工学コースの邱泰瑛准教授による研究室間の交流から始まった。その後、複数の研究室へ参加を呼びかけ、シンポジウム形式へと発展した。シンポジウムの名称は「応用科学国際シンポジウム（International Symposium on Applied Science）」とし、開催年度を略称「ISAS」の後に付すこととしている。

今年2月、輔仁大学一行の訪問交流会では、「ISAS 2026 in KIT」とした。今回の輔仁大学一行による訪問交流会は、「ISAS 2026 in KIT」と題して開催した。

【プログラム】

2026年2月5日から7日にかけて、輔仁大学の一行（約15名）が北見工業大学を訪問した。表敬訪問のほか、ポスター発表および口頭発表を含む学術発表会、オホーツク管内の見学、各種体験、研究施設の見学など、3日間にわたる交流プログラムを実施した。

輔仁大学との交流－冬の交流会【@工大】

2月5日（木）

北見工大修論発表会					
ご挨拶 ご紹介 (多目的講義室)	ポスター発表会 (国際交流センター前広場)	お弁当 (生協弁当) (大学会館)	バス 移動	オホーツク管内見学 ・薄荷記念館（13：00～14：00） ・流氷15：30～（網走）	解散
09：30～	10：15～	11：30～	12：30～		17：30～

2月6日（金）

学長 ご挨拶	シンポジウム (午前の部) (Kit-Front)	お弁当 (生協弁当) (北見アスリート ステイズ4階)	シンポジウム (午後の部) (Kit-Front)	市バス 移動	焼肉 祭り (17：00-18：00)	晚餐会 @オホーツク ビール
09：30～	10：00～	12：00～	13：30～	16：00～		18：30～
	藍学長：メタンハイドレート		藍学長：薄荷記念館			

2月7日（土）

集合 (北見カーリ ングホール)	カーリング体験	タク シー 移動	会食 (ホテルロイ ヤル北見)	タク シー 移動	構内・市内見学 ・環境大善（講座）	解散
10：30～	11：00～	13：00～	14：30～			16：00～

【輔仁大学からの交流参加者】

この訪問は、正式な協定校として初めての公式訪問であり、輔仁大学学長である藍易振教授を団長とし、教務長の蔡宗佑教授、民生学院院長の郭孟怡教授、食品科学系主任の謝榮峰教授をはじめ、教授6名、准教授1名、助教4名、大学院生3名、学部生1名が参加した。

そのうち、蔡宗佑教授、郭孟怡教授、劉德華助教、鄭孟純助教の4名は、本学への来訪が2回目となる。



学長

藍易振 教授
Dr. Francis Yi-Chen Lan



國際長

劉維民 教授
Dr. Wei-Min Liu



教務長

蔡宗佑 教授
Dr. Tsung-Yu Tsai



民生学院長

郭孟怡 教授
Dr. Meng-I Kuo



系長

謝榮峰 教授
Dr. Jung-Feng Hsieh



高彩華 教授
Dr. Tsai-Hua Kao



陳邦元 准教授
Dr. Bang-Yuan Chen



陳奕鳴 助教
Dr. Yi-Ming Chen



劉德華 助教
Dr. Te-Hua Liu



鄭孟純 助教
Dr. Meng-Chun Cheng



蘇俊翰 助教
Dr. Chun-Han Su

学生： 博士後期：賴怡君 (Yi-Chung Lai)
博士前期：徐仲威 (Chung-Wei Hsu)、蔡豐聿 (Feng-Yu Tsai)
学部：李臣恩 (Chen-En Li)

計：15名

p.s. その他の同行者7人程度

【歓迎会・説明会・自己紹介】

日程調整の都合により、藍学長は初日の夕方に北見市へ到着したため、学長挨拶は2日目の朝に実施した。

初日の歓迎会は多目的講義室にて開催し、副学長兼国際交流センター長である星野先生が本学を代表して輔仁大学一行を歓迎した。星野副学長の挨拶の後、記念品の交換を行った。



星野副学長の挨拶の後、輔仁大学を代表し、郭院長が星野副学長に輔仁大学建校100周年記念の皿を贈呈した。



本学では、北見の名産品で赤いサイロやグリーンズ北見スープセットなどを用意した。

輔仁大学は、「2026 ISAS in KIT」および両大学のロゴをあしらったマグカップと輔大食品科学系貯金箱などを用意した。



歓迎会の記念写真

交流実績と学術交流協定の締結

- 【2018年】 2018/07/16 in FJU
交流開始 相互訪問・シンポジウム ISAS 2018 1st
- 【2018年】 2018/12/06 in KIT
相互訪問・シンポジウム ISAS 2018 2nd
- 【2019年】 2019/08/20 in FJU
相互訪問・シンポジウム ISAS 2019

(コロナ禍により一時中断)

- 【2023年】 2019/08/20 @ FJU
対面交流を再開・シンポジウム
学術交流の深化 ISAS 2023

2023年12月
北見工業大学 × 輔仁大学
学術交流協定 締結

ISAS 2026 in KIT

歓迎会の後、邱准教授が両大学のこれまでの交流経緯を説明するとともに、北海道国立大学機構および本学の来年度の改組について紹介した。



食品科学系主任である謝教授が、輔仁大学の概要を紹介した。

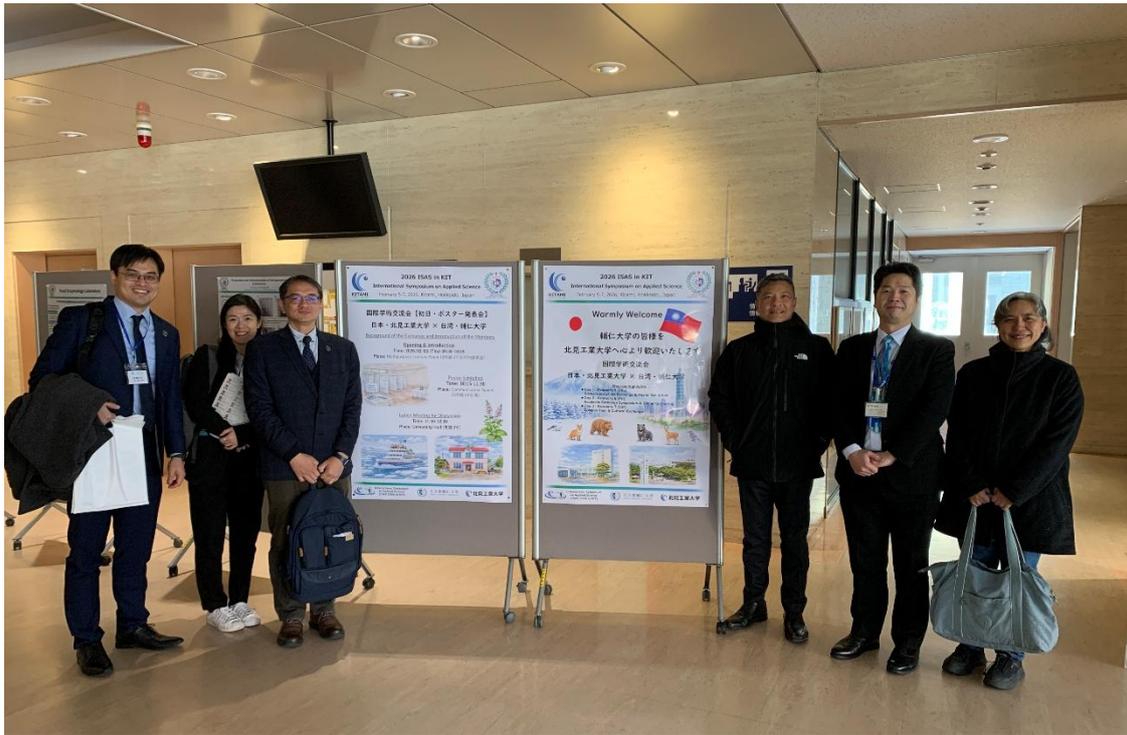
両大学の交流参加者が1人ずつスライド1枚を用いて自己紹介を行った。

【ポスター発表会】

ポスター発表会は3号館の広場にて開催した。発表枚数は、輔仁大学側が計10枚、本学側が計18枚（邱研究室6枚、小西研究室4枚[うち渡辺先生1枚、蔭西先生1枚]、新井研究室3枚、陽川研究室3枚、フォン先生1枚、兼清先生1枚）であった。2月5日から6日までの2日間、展示を行った。



ポスター発表会（初日）の様子



ポスター発表会（2日目）にて。輔仁大学一行（左から劉国際長、劉助教、蔡教務長、藍学長、邱准教授、郭院長）。

2026 ISAS in KIT
International Symposium on Applied Science
KITAMI February 5-7, 2026, Kitami, Hokkaido, Japan

Warmly Welcome
輔仁大学の皆様を
北見工業大学へ心より歓迎いたします

国際学術交流会
日本・北見工業大学 × 台湾・輔仁大学

Program Highlights

- Day 1 | February 5 (Thu)
Background of the Exchange & Poster Exhibition
- Day 2 | February 6 (Fri)
Academic Exchange Symposium & Dinner Gathering
- Day 3 | February 7 (Sat)
Campus Tour & Cultural Exchange

2026 ISAS in KIT
International Symposium on Applied Science
KITAMI February 5-7, 2026, Kitami, Hokkaido, Japan

国際学術交流会【初日・ポスター発表会】
日本・北見工業大学 × 台湾・輔仁大学

Background of the Exchange and Introduction of the Members

Opening & Introduction
Time: 2026/02/05 (Thu) 09:30-10:15
Place: Multipurpose Lecture Room (3号館2F多目的講義室)

Poster Exhibition
Time: 10:15-11:30
Place: Communication Space (3号館1F広場)

Lunch Meeting for Discussion
Time: 11:30-12:30
Place: University Hall (生協2F)

今回の交流会で用意した歓迎ポスターおよびポスター発表会用ポスター

【初日－昼食交流会】

初日（2/5）の昼食交流会は、生協 2 階の展示場にて開催した。主な食事は大学生協に依頼した。なお、参加者のうち 3 名がベジタリアンであったため、市内の業者「自然食卓べじぶらす」と契約の上、ベジタリアン向けの食事の調製および配送を依頼した。さらに、スターバックスのコーヒートラベラーも用意した。小西教授の挨拶に続き、参加者は食事を楽しみながら、活発な意見交換を行った。

郭教授は、北海道の農業の特色に強い関心を示され、特に甜菜の加工について興味を持たれていた。小西教授は、本学の授業の一環として北海道糖業の見学を実施していることを紹介し、今後機会があれば甜菜加工施設の見学を計画したい旨を述べた。また、蔡教授はオホーツク管内の農業および漁業の特徴に関心を示され、農林水産工学連携研究推進センター（CAFFE）のセンター長である新井教授より、本学と公的な農林水産関連機関との連携について説明があった。



小西教授が歓迎の言葉を述べた。



意見交換の様子

【オホーツク管内見学・体験】

今回の交流会日程においては、応用化学系の修士論文発表会が開催されていたため、初日（2/5）の午後に薄荷記念館でのクリーム作成体験および網走での流氷体験を企画した。当日は、国際交流センターの久保先生およびマレーシア出身の博士後期課程学生タン・ペイユー（陳姍妤）さんが帯同し、バスにてオホーツク管内の見学を実施した。輔仁大学の皆様には、北見の名産品である和種薄荷に直接触れていただくとともに、水蒸気蒸留の実演も体験していただき、大変好評であった。



北見薄荷記念館にてクリーム作成を体験する様子



北見薄荷記念館前にて記念撮影

網走での流氷体験につきましては、予算申請上の都合により、予約手配およびバスでの移動は本学が手配し、流氷観光船の乗船チケット代は参加者各自の自己負担とする形で実施した。15時30分発の便に乗船し、流氷を観覧しながら、オホーツク海に沈む夕陽の景色を満喫することができた。



日程調整の都合により、交流 2 日目（2/6）には、中国語にも堪能な事務職員の鈴木里美さんおよびタン・ペイユーさんの帯同のもと、輔仁大学の藍学長および劉国際長にも北見薄荷記念館にてクリーム作成をご体験いただいた。薄荷の香りが漂う空間の中で、参加者はリラックスした雰囲気を楽しみながら、北見の名産品の魅力に触れる貴重な機会となった。



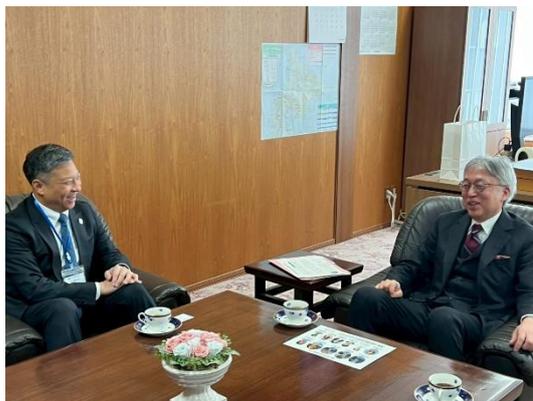
藍学長と劉国際長がクリーム作成を体験する様子



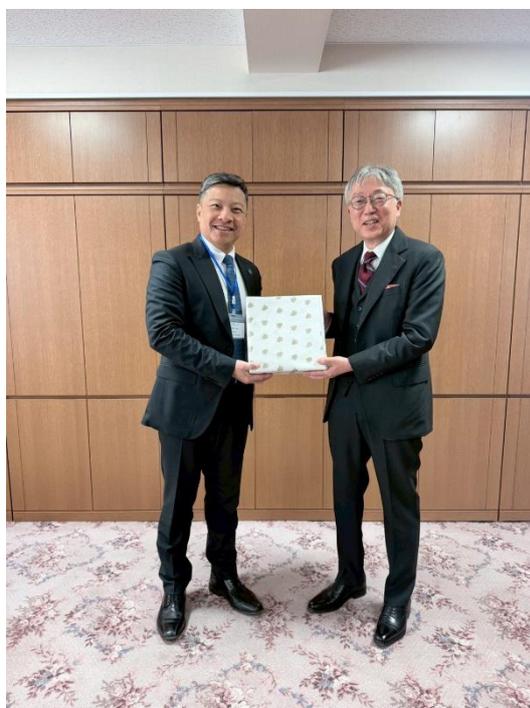
薄荷精油の水蒸気蒸留実演を見学する様子

【藍学長一行による学長表敬訪問】

交流 2 日目の朝、国際交流センターの鈴木先生が公務車にて藍学長および劉国際長をお迎えした。その後、蔡教務長および郭院長と合流し、アシスタントを務める劉助教および通訳を担当する邱准教授が同行のうえ、進行役の鈴木先生の案内により、北見工業大学学長室を表敬訪問した。およそ 20 分間の歓談の後、藍学長と榮坂学長による記念品の相互贈呈が行われ、続いて記念撮影を行った。輔仁大学からは建校 100 周年を記念した記念皿が贈呈され、本学からは北見の代表的なスポーツであるカーリングのストーンをモチーフとしたキャンディーポットを贈呈した。



藍学長と榮坂学長の初対面および歓談の様子



藍学長と榮坂学長による記念品の相互贈呈の様子





学長表敬訪問に際しての記念撮影

(左から鈴木衛准教授、劉国際長、藍学長、榮坂学長、郭院長、蔡教務長、邱准教授)

【シンポジウム 口頭発表 in KIT FRONT】

交流 2 日目のシンポジウムは、本学正門前に所在する桑原グループが運営する「KIT FRONT」において開催された。藍学長のご挨拶の後、新井教授より開会の挨拶が行われた。



今回のシンポジウムでは、本学からは 4 題（木田真人准教授、陽川憲准教授、フォンチャオフィ准教授、植西徹准教授）、輔仁大学からは 7 題（蔡宗佑教授、郭孟怡教授、謝榮峯教授、高彩華教授、陳邦元准教授、蘇俊翰助教、陳奕鳴助教、鄭孟純助教および学生発表）の発表を行う構成とした。



冒頭では、木田真人准教授より、メタンハイドレートおよびカーボンニュートラルに関連する研究の紹介がなされた。



2026 ISAS in KIT

International Symposium on Applied Science

[Day 2] February 6 (Fri.), 2026



Courtesy visit greeting

9:30-09:50 @ Office of the President

Dr. Toshio Eisaka President (Professor, Kitami Institute of Technology, Japan)

Dr. Francis Yi-Chen Lan President (Professor, Fu Jen Catholic University, Taiwan)

Programs of Academic Exchange Symposium

10:00-10:10 **Opening & Introduction @ KIT Front**

Dr. Hirofumi Arai (Professor, Kitami Institute of Technology, Japan)

Dr. Francis Yi-Chen Lan President (Professor, Fu Jen Catholic University, Taiwan)

10:10-16:00 **Symposium on Applied Science** (15 min presentation, 5 min Q&A)

10:10-10:30 **[KIT]** Associate Professor Masato Kida Lab

10:30-10:50 **[FJCU]** Professor Tsung-Yu Tsai Lab (Assistant Professor Meng-Chun Cheng and Assistant Professor Te-Hua Liu)

10:50-11:10 **[FJCU]** Professor Meng-I Kuo Lab (Graduate student Yi-Chung Lai)

11:10-11:30 **[FJCU]** Professor Jung-Feng Hsieh Lab (Graduate student Feng-Yu Tsai)

11:30-11:50 **[FJCU]** Professor Tsai-Hua Kao Lab (Graduate student Chung-Wei Hsu)

🕒 **12:00-13:30 A forum for exchanging opinions (Lunch)** ☺

@ Tabist Kitami Athlete Stays 4F

13:30-13:50 **[FJCU]** Associate Professor Bang-Yuan Chen Lab

13:50-14:10 **[FJCU]** Assistant Professor Chun-Han Su Lab

14:10-14:30 **[FJCU]** Assistant Professor Yi-Ming Chen Lab

14:30-14:50 **[KIT]** Associate Professor Ken Yokawa Lab

14:50-15:10 **[KIT]** Associate Professor Chaohui Feng Lab

15:10-15:30 **[KIT]** Associate Professor Toru Uenishi Lab

15:30-15:50 **Summary & Ending**

Dr. Tai-Ying Chiou (Associate Professor, Kitami Institute of Technology, Japan)

Dr. Meng-I Kuo (Professor, Fu Jen Catholic University, Taiwan)

Dr. Wei-Min Liu (Professor, Fu Jen Catholic University, Taiwan)

18:30-21:00 **Dinner Gathering @ Okhotsk Beer Factory**



鄭孟純助教が講演する様子



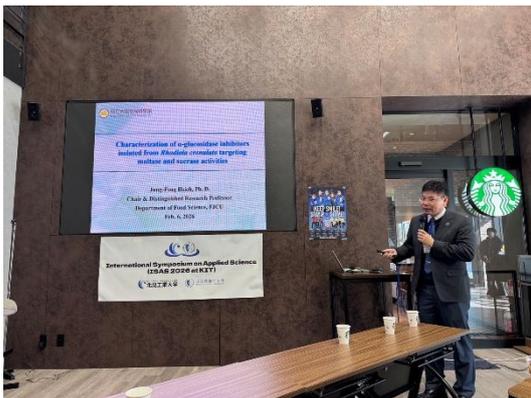
賴怡君博士が講演する様子



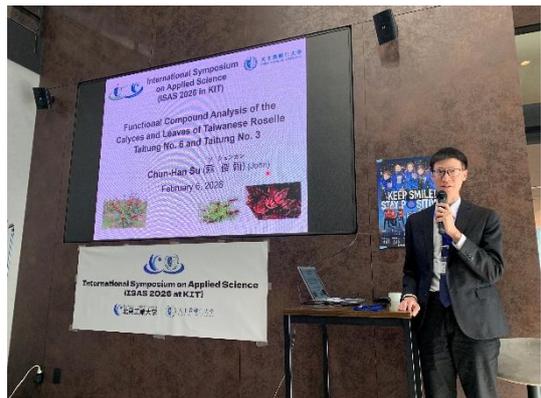
陳邦元准教授が講演する様子



高彩華教授が講演する様子



謝榮峯教授が講演する様子



蘇俊翰助教が講演する様子



陳奕鳴助教が講演する様子



フォンチャオフィ准教授が講演する様子



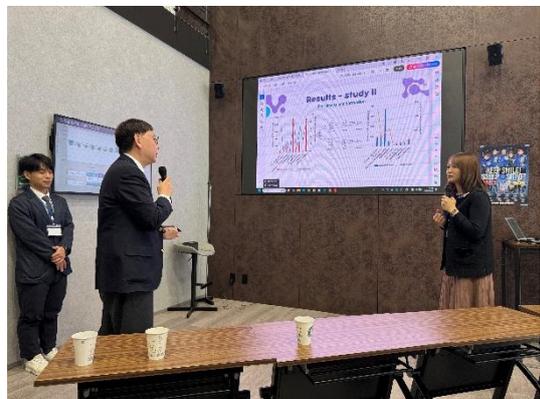
植西徹准教授が講演する様子



陽川憲准教授が講演する様子



会場後方から撮影したシンポジウムの様子



活発な質疑応答および意見交換が行われた。

シンポジウムは午前と午後の2部で構成された。午前の進行役は陳奕鳴助教、座長は謝榮峯教授であり、午後では、進行役はフォンチャオフィ准教授、座長は邱泰瑛准教授であった。シンポジウムは午前・午後の2部構成で実施された。午前の部では、進行を陳奕鳴助教が務め、座長は謝榮峯教授であった。午後の部では、進行をフォンチャオフィ准教授が務め、座長は邱泰瑛准教授が担当した。シンポジウムの最後には、劉維民教授よりご挨拶をいただき、記念撮影を行った。研究交流が大いに盛り上がり、終始和やかな雰囲気の中で閉会した。



劉維民教授による閉会のご挨拶の様子



シンポジウム終了に際しての記念撮影

【シンポジウム 特別見学 in 地域循環共生研究推進センター（ERC）】

シンポジウム開催中、藍学長および劉国際長のために特別見学を企画し、実施した。本見学は、地域循環共生研究推進センター長である南尚嗣教授が担当した。南教授より、メタンハイドレートに関する研究内容および北見工業大学における研究の経緯について、わかりやすい説明がなされた。また、技術専門職員の三橋恵治氏により、人工合成メタンハイドレートへの点火実験が行われ、実際の燃焼反応が実演された。藍学長はメタンハイドレートの自然生成過程に強い関心を示され、南教授と活発な意見交換を行った。さらに、化学分野を専門とする劉維民教授からは、水分子に包接されたメタンガスの構造について専門的な質問があり、南教授は天然生成との関係や人工合成に至る研究の経緯、さらには地域循環共生の観点から現在取り組んでいる研究方針について丁寧に説明した。また、木田真人准教授は、同行していた蔡宗佑教授および劉徳華助教との間で活発な質疑応答を行った。



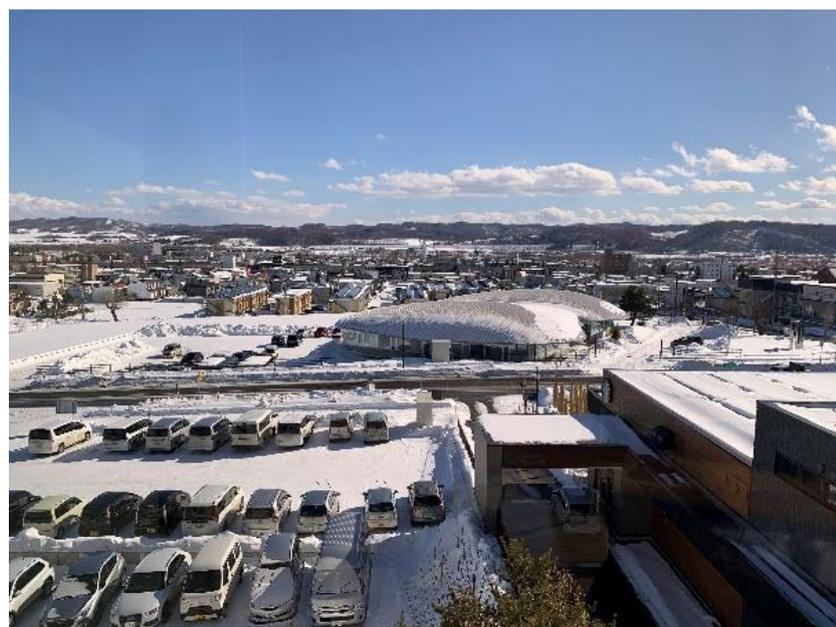
メタンハイドレートの紹介および点火実演の様子

【2日－昼食交流会】

2日目（2月6日）の昼食交流会は、シンポジウム午前の部終了後、参加者を引率して、スターバックス裏手に位置する「Tabist 北見アスリートステイズ」へ移動し、同施設4階のレストランにて開催した。食事は、初日と同様に生協および「べじぷらす」に依頼した。食事に先立ち、陽川准教授より挨拶があった。会場は北見市を一望できる眺望の良い施設であり、当日は晴天にも恵まれ、雪に包まれた北見市の景色を望むことができた。参加者は終始和やかな雰囲気の中、今後の交流について活発な意見交換を行った。



陽川准教授による食事前の挨拶



会場から東南方向を望む景観

【北見焼肉祭り】

今回の輔仁大学一行の交流期間は、ちょうど北見焼肉まつりの開催時期と重なった。久保先生およびタン氏の帯同のもと、藍学長および劉国際長に北見焼肉まつりを体験していただいた。チケットについては、11月29日10時からの販売開始に合わせ、久保先生が寒さの中、行列に並び、4枚のチケット（16人分）を確保した。



写真引用：北見市観光協会 (<https://kitamikanko.jp/information/3408/>)



輔仁大学一行が北見芸術文化ホールを經由して会場へ向かう様子



輔仁大学一行がバーベキューを楽しむ様子

【晩餐会】

晩餐会は、日本で初めて地ビール製造免許を取得したオホーツクビアファクトリーにて開催した。参加者は、同行者を含め 32 名であった。司会進行は鈴木准教授が務めた。開会にあたり、榮坂学長よりご挨拶をいただいた。続いて、藍学長よりご挨拶があった。その後、乾杯の辞は榮坂学長により述べられた。閉会の辞は、新井教授により述べられた。



榮坂学長による開会のご挨拶の様子



藍学長によるご挨拶の様子



晩餐会歓談する様子



晩餐会を楽しむ様子



藍学長より台湾名産品「土鳳梨酥」榮坂学長に贈呈した。



藍学長より台湾名産品「土鳳梨酥」星野副学長に贈呈した。



藍学長より台湾名産品「土鳳梨酥」新井学科長に贈呈した。



晩餐会を楽しむ様子



晩餐会を楽しむ様子



晩餐会を楽しむ様子



晩餐会を楽しむ様子



晩餐会を楽しむ様子



新井教授より閉会の辞が述べられた。

晩餐会あと書き

今回の北見工業大学と輔仁大学との交流は、2023年12月末に交流協定を締結して以降、初めて実現した正式訪問である。また、藍学長が2024年に就任されて以来、単一学科（食品科学系）として初めて海外交流を率いられた記念すべき機会でもあった。昨年は輔仁大学創立100周年、そして北見工業大学創立65周年という節目の年でもあり、この特別な時期に両校が対面で再会し、友情を深めることができた意義は極めて大きい。

晩餐会では、榮坂学長と藍学長が杯を交わし、まるで旧知の友人のように和やかに語り合われた。藍学長はカトリック系総合大学の運営に関するご経験を紹介され、ユーモアを交えた語り口により、会場は幾度となく笑いに包まれた。両学長の対話の中では、今後の国際交流の実務面についても言及があり、制度面においてより積極的かつ実効性のある形へと発展させていく可能性が示唆された。

また、国際交流センター長を兼任する星野副学長と、新たに国際長に就任された劉教授も、今後の継続的な連携について意見交換を行った。今後はオホーツク地域の産業界との連携を図り、地域企業とともに台湾を訪問して工場見学などを実施する構想や、台湾において三国間の協定校による共同交流会を開催する可能性も話題となった。特にベトナムを視野に入れた展開については、18歳人口の増加と国内大学数の制約を背景に、優秀な国際学生を確保する好機となり得る点が共有された。

北見工業大学と輔仁大学の交流は、生物・食品分野を起点として始まったが、今回の訪問を通じてエネルギーや化学分野へと広がりを見せた。今後は分野横断型の国際共同研究へと発展していくことが期待される。

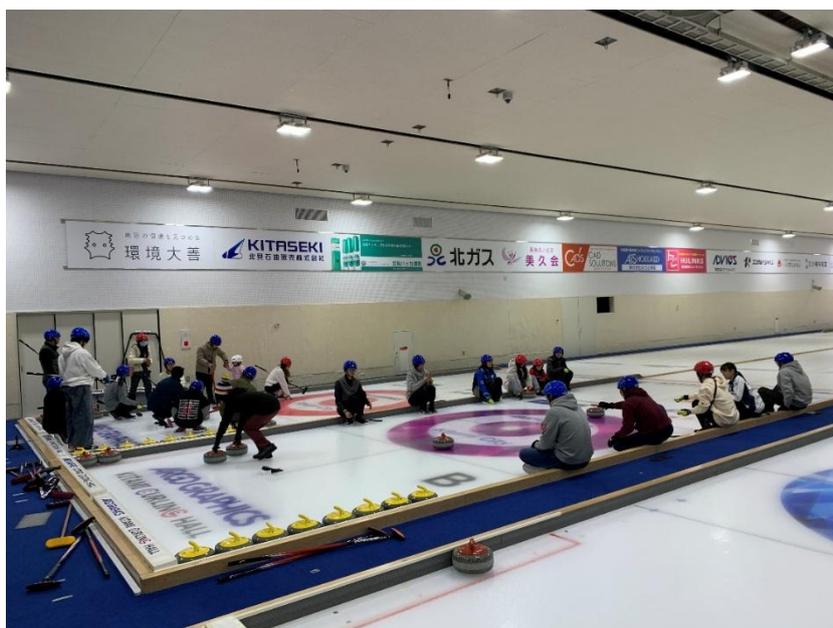
晩餐会の締めくくりとして、新井教授よりご挨拶があり、両校の友情のさらなる深化への祝意とともに、次回は台湾で再会できることへの期待が述べられ、温かな拍手の中、和やかに幕を閉じた。



晩餐会の盛り上がった風景

【カーリング体験】

交流会の最終日には、カーリング体験を実施した。輔仁大学の交流参加者および同行者、ならびに北見工業大学の交流参加者とそのご家族を含め、総勢 30 名が体験に参加した。体験は 2 シート（A・B）で実施し、各シートに講師 1 名が付いた。A シートは 2 時間コースで、計 10 名が参加した。B シートは初心者向け 1 時間コースに 10 名、2 時間コースを含めて計 20 名が参加した。輔仁大学の参加者のみならず、北見工業大学側の参加者の多くも初めての体験であったが、皆それぞれに楽しみ、充実した時間を過ごした。



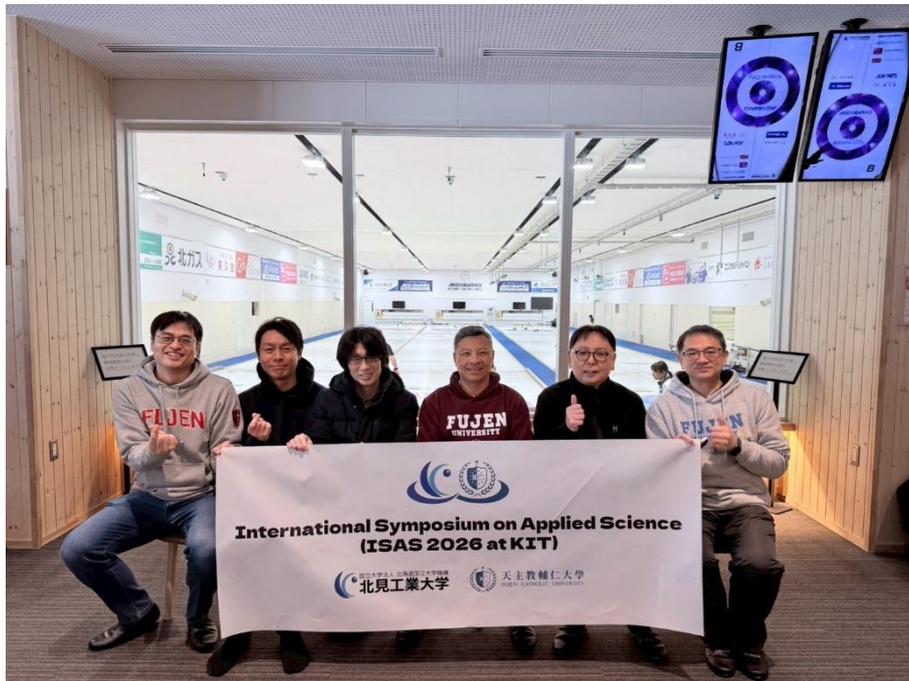
カーリング体験における着替えの様子（上図）とルール説明の様子（下図）



カーリング体験に真剣に取り組む様子



体験終了後のカーリング氷上での記念写真



体験終了後の記念写真

(左から劉国際長、陽川准教授、小西教授、藍学長、新井教授、蔡教務長)



体験終了後の記念写真

【研究室見学】

今回の交流会の最後のプログラムとして、共同研究講座および研究室の見学を実施した。共同研究講座では、小西教授より、北見・環境大善との共同研究の取組について紹介があった。研究室見学では、小西教授のバイオプロセス工学研究室ならびに陽川准教授の植物分子工学研究室を訪問した。小西教授からは、NEDOの国家プロジェクトをはじめとする研究内容や地域連携の取組について説明があった。また、陽川准教授からは、薄荷に関連する研究内容および国内外との共同研究について紹介があった。

研究室見学終了後、小西教授より、藍学長をはじめとする輔仁大学一行に対し、締めくくりの挨拶が行われた。その後、新井教授、小西教授、陽川准教授、フォン准教授および邱准教授が3号館前にて藍学長一行を見送り、本交流会は滞りなく終了した。



薄荷の実物を手に取りながら説明する陽川准教授の様子



小西教授が研究室の先進分析機器について説明する様子



小西教授より、藍学長をはじめとする輔仁大学一行へ締めくくりのご挨拶が行われた。

交流会の最終日のあと書き

交流会最終日は、名残を惜しみつつも、充実したプログラムで締めくくられた。

午前中は、北海道ならではの体験としてカーリングを実施した。ストーンを投げる瞬間には歓声が上がリ、ブラシで氷上をこする動きにも自然と力が入るなど、参加者全員が一体となって楽しむ姿が印象的であった。競技を通じて笑顔が広がり、両校の距離はさらに縮まった。

昼食をともにした後は、研究室見学を行った。北見工業大学の各研究室において、最先端の研究設備や研究内容の紹介が行われ、活発な質疑応答が交わされた。専門分野を越えた議論も展開され、今後の共同研究の可能性を感じさせる有意義な時間となった。

すべての日程を終えた後、関係教員一同で見送りを行った。握手や写真撮影を交わしながら再会を約束し、温かな雰囲気の中で今回の交流は幕を閉じた。短い日程ではあったが、内容の濃い三日間となり、両校の友情と協力関係はより一層深まった。



手を振りながら何度も「また台湾で」「次は8月に」と声を掛け合った。冷たい北見の空気の中にも、心温まる交流の余韻が残るひとときであった。